

「社会システムを支える情報処理」特集
Information Processing for Social Systems

最近、人々の行動や働き方が見直されつつあります。またこの影響は、産業、学術、教育、行政等、社会の至る所に現れ、各所で意識変革や技術革新をもたらす予兆がみられます。社会活動を発展させるため、あるいは危機的状況にあっても機能を維持するため、我々は現在どのような手段を講じることができ、また将来に向けてどのような準備をしておくべきなのか。この問いに対し、情報処理という切り口で広く関連論文を投稿いただくことは意義があると考え、論文誌C(電子・情報・システム部門誌)2021年8月号に「社会システムを支える情報処理」特集号を企画します。

デジタル技術の浸透により実現される豊かな社会という大きな希望がある一方で、このようなデジタルトランスフォーメーション(DX)時代に向けての人材育成の必要性を訴える声もあります。またDXに向けての取り組みは組織ごとに異なり、産官学のそれぞれで問題点が浮き彫りになりつつあります。このような状況に鑑み、本特集号では先端的研究の報告をはじめとして、学術的サーベイ、応用・実証例等の実用性・有用性に富む報告も歓迎します。

以下にキーワードを挙げますが、必ずしもこれにとらわれることなく、関連する周辺分野からの奮ってのご投稿をお待ちしています。なお、査読の都合により特集号に掲載できない論文は、一般論文として取り扱われますので、あらかじめご了承ください。

キーワード:

大規模モデリング・シミュレーション、企業情報システム、教育システム、セキュリティ、コミュニケーション・インタフェース、人工知能、サイバーフィジカルシステム(CPS)、リスク管理、災害情報システム、行動変容、経済シミュレーション など

投稿締切: 2020年10月26日(月)(締切厳守)

詳細は電気学会論文誌への投稿手引に従ってください。

<http://www.iee.jp/pub/post/> から原稿作成の手引きをダウンロードできます。

投稿方法: 投稿は電子投稿・査読システムで受け付けます。

<https://submit.iee.or.jp/main/cgi/sstk-top.cgi>からご投稿下さい。電子投稿・査読システムの「論文・資料・研究開発レターの投稿」画面において「論文誌C」を選択し、次に原稿種別(論文/資料/研究開発ノートのどれか)を選択した後、「原稿投稿」画面において「社会システムを支える情報処理」特集を選択して下さい。電子メールを用いた投稿、郵送での投稿は受け付けられませんのでご注意ください。

ゲストエディタ・問い合わせ先: 吉江 修

早稲田大学理工学術院 大学院情報生産システム研究科

〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-7

E-mail: yoshie(アット)waseda.jp ⇒(アット)を@に変えてから送信下さい。

企画協力: 情報処理技術委員会